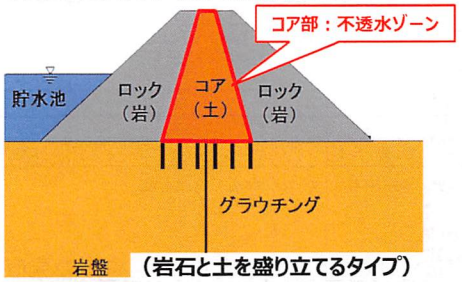
2. 建設に要する費用の変更

II - ① コア材採取量不足及び転石処理による増

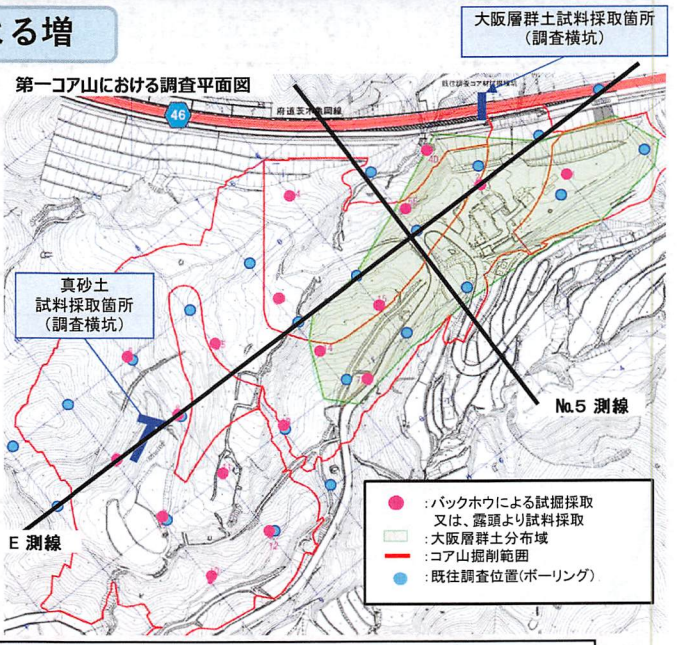
○ロックフィルダムにおいて「コア」とは、貯水機能を担う最も重要な不透水ゾーンである。コア材はこの不透水ゾーンに使用する遮水性が高い土質材料。
○コア材の確保については、設計段階において右図のとおり20m間隔でメッシュ状に調査を実施し、ダム事業地近傍の第1コア山において盛り立てに必要なコア材全量の確保を見込んでいた。

中央コア型ロックフィルダムの構造形式

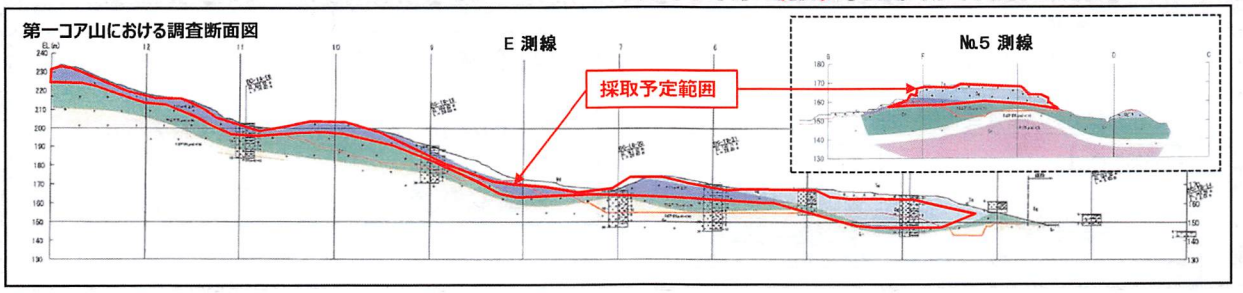


（岩石と土を盛り立てるタイプ）

第一コア山における調査平面図



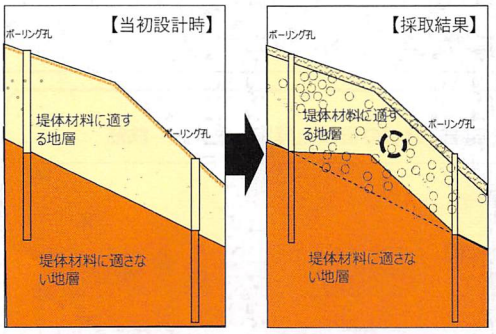
第一コア山における調査断面図

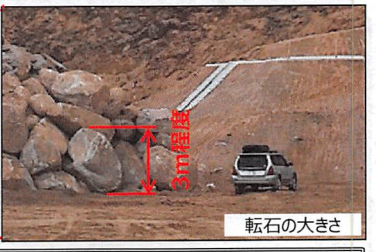


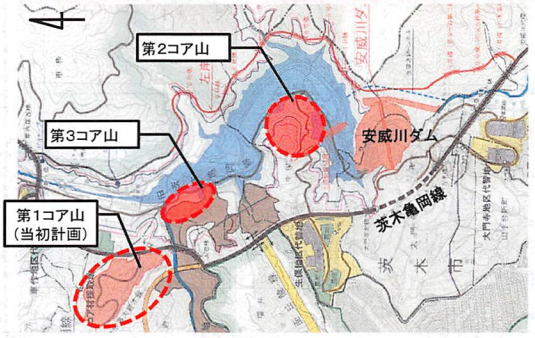
2. 建設に要する費用の変更

II - ① コア材採取量不足及び転石処理による増

- 平成29年度末に、第1コア山での本格的なコア材採取に着手したところ、転石の混入が多く、また、コア材に適した粒度分布の土層が、想定より浅く留まっていたことにより採取可能な範囲が限定され、不足することが判明した。
- 不足分の調達方法について、経済性等を考慮して検討した結果、事業地内の新規候補地からの採取と購入により対応することとしたため、採取費や購入費が増額となる。







- 現場で発生した転石については、事業地内で流用するために破砕処理が必要となり、増額となる。